

(8) 事業者によるその他取組について

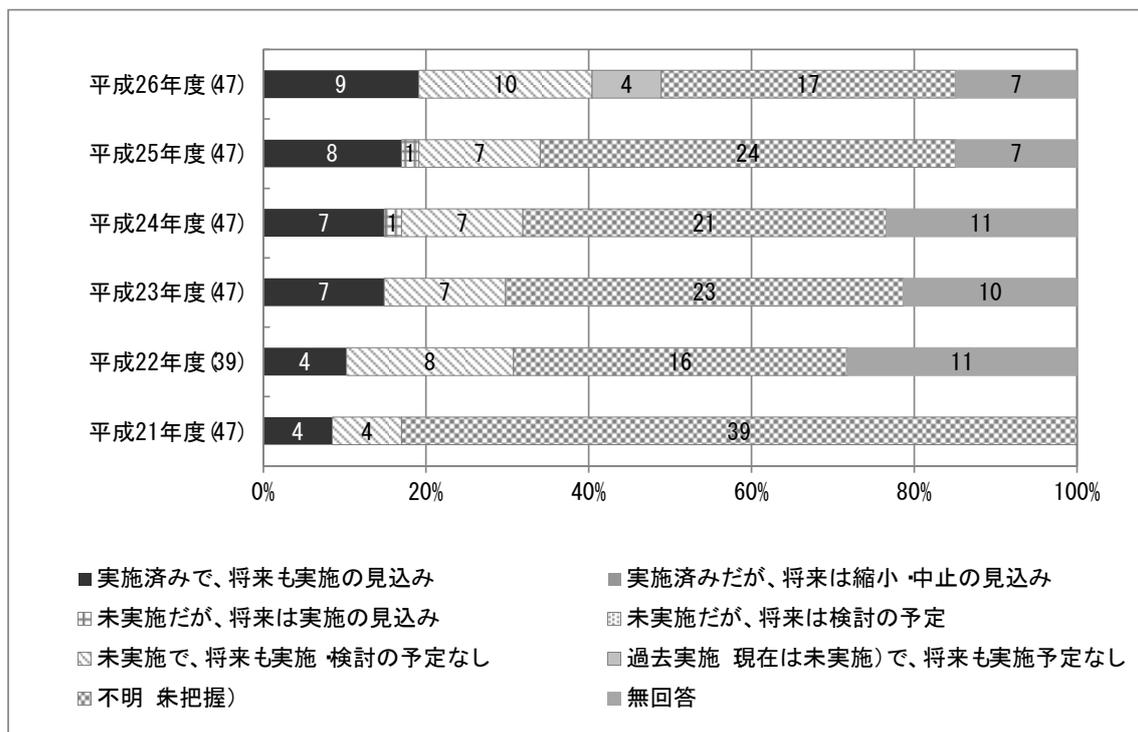
■今年度の特徴

「実施済みで、将来も実施の見込み」は約2割となっている。一方で、「未実施で、将来も実施・検討の予定なし」が約2割、「過去実施（現在は未実施）で、将来も実施予定なし」が約1割となっている。

■トレンド

「実施済みで、将来も実施の見込み」が増加、独自の取組を行う事業者は調査開始当初に比べ2倍以上となっている。

事業者によるその他取組について（都道府県）



- 「実施済みで、将来も実施の見込み」が9件（19%）、「未実施で、将来も実施・検討の予定なし」が10件（21%）、「過去実施（現在は未実施）で、将来も実施予定なし」が4件（9%）となっている。

＜その他の取組に対する特徴的な回答＞

自治体名	取組内容
神奈川県	<ul style="list-style-type: none"> ・レジ袋2度使用推進
長野県	<ul style="list-style-type: none"> ・レジ袋の店頭回収によるリサイクルやレジ袋の適正サイズの使用、リユースレジ袋の呼びかけ。
山梨県	<ul style="list-style-type: none"> ・レジ袋のリサイクル（消費者から不要となったレジ袋を店頭で回収してリサイクルしている（レジ袋の回収1枚につき、自社のポイントカードに1ポイント還元）
群馬県	<ul style="list-style-type: none"> ・群馬県が組織する「環境にやさしい買い物スタイル普及促進協議会」では、様々な手法によるレジ袋削減の取組を中心としつつ、同時に店頭における容器包装のリサイクル回収や地産地消など地球温暖化防止及び3Rの取組を幅広く行っている。
大分県	<ul style="list-style-type: none"> ・レジ袋に代わる包装資材（ダンボール箱など）を準備している。
高知県	<ul style="list-style-type: none"> ・高知県地球温暖化防止県民会議県民部会事業（県委託事業）において、スーパーマーケット対抗レジ袋削減コンテスト2013への参加呼びかけを実施。県内主要スーパーマーケット9社が参加し、各店舗のレジ袋の辞退率（一会計ごとにレジ袋を断った割合を）競うことにより、スーパーマーケット業界をあげて、CO2の排出削減を目指した。 ・主要スーパーマーケットにおいてポスターの掲示、チラシの配布、レジ担当職員が缶バッジを付る等による啓発を行った。
石川県	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスター掲示や店内放送等によるレジ袋削減に向けた啓発 ・簡易包装 ・従業員への教育 など
和歌山県	<ul style="list-style-type: none"> ・レジ袋削減啓発ポスターの掲示
熊本県	<ul style="list-style-type: none"> ・マイバッグ持参を推奨するポスターの掲示